

全國農民聯合會 福岡出張所 第八回大會 狀況

- 一、日 時 昭和十年十月十九日 自午前十時二十分 至午後三時五十分
- 二、會 場 佐賀縣鳥栖町 鳥栖劇場
- 三、參 加 者 代議員五三八名（内女約六〇名）
- 四、會場に掲げたるスローガン
 - 小作米をウシとマケロ！
 - 税金、借金の取立をマテ！
 - 土地取上反対！
 - フアツシヨ租借フアツシヨ粉砕！
 - 農民戦線の即時統一！
 - 労働者、農民の提携萬歳！
 - 農民に土地を保證せろ！
 - 全農福佐第八回大會萬歳！

五、大會の内容

1、開會の辭

司會者 矢野勇助

今や世界の動勢入衆は何時最大時か突發するかに戦いてゐる
 イエ問題を機會として何故第二次世界戦争の危機を促進せし
 めるか、伊太利の地主層は世界大戦の結果に不満を持つと
 共に國家の行詰りを憂慮せんとしてゐるのだ、大戦後何等の
 利益も得なかつた伊太利は引續き起つた世界經濟恐慌に國內
 經濟は更に窮乏し國內に起つた小平小滿を打解せねばならぬ
 と考へた。

伊太利の地主資本家の目を付けた所以はアフリカのエチオピア
 である。今回は自衛を持つて侵略の糸口を求めて戦端を開い
 た、この結果が英佛の植民地に重大な損失を持ち問題は中絶
 歐洲に進展し大動亂の危機に迫られてゐる。